

〔問1〕

次の（1）から（10）の林学に関する語句群の中から5つ選び、その意味を簡潔に説明せよ。

- （1）林地開発許可制度
- （2）「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」に規定する合法伐採木材等
- （3）特定外来生物
- （4）木材のカスケード利用
- （5）SDGs
- （6）抵抗性マツ
- （7）里地里山
- （8）自然公園法
- （9）コウヨウザン
- （10）透過型治山ダム

〔問2〕 次の（1）から（10）の問に対し最も適当なものを、それぞれの番号の選択肢1から5の中から選び、記号で答えよ。

著作権保護のため、非公表 (択一式 10問)
---------------------------

〔問3〕

次の（1）から（3）の問いの中から1つを選び答えよ。

（1）「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」で採択された「戦略計画2011 - 2020」の達成に向けた我が国のロードマップである、「生物多様性国家戦略2012 - 2020」に示されている、5つの基本戦略を列記するとともに、森林における生物多様性の保全にあたっての基本的考え方を800字程度で述べよ。

（2）平成31年4月1日に森林経営管理法が施行され、森林経営管理制度がスタートした。

この森林経営管理制度が創設された背景としての、我が国の森林・林業をめぐる課題、並びに森林所有者及び市町村の責務を述べた上で、市町村が行う経営管理の方法について、林業経営に適した森林の場合と適さない森林の場合に分けて800字程度で述べよ。

(3) 我が国では、局地的な集中豪雨や台風の襲来等により、毎年、各地で多くの山地災害が発生している。2017年11月に林野庁から公表された「流木災害等に対する治山対策検討チーム」中間とりまとめでは、九州北部豪雨における山地災害の発生メカニズムの分析・検証等を行った上で、今後の事前防災・減災に向けた治山対策を示している。

そこで、山地災害の発生源から保全対象に至るまでの区間を①発生区域、②流下区域、③堆積区域の3区域に分けた場合に、それぞれの区域での災害発生（拡大）の特徴と推進していくべき治山対策を800字程度で述べよ。